

年頭挨拶

- 漁業経営のセーフティネット「ぎょさい」の積極的活用を -

全国漁業共済組合連合会
会長理事 渡邊 静次

全国の漁村の皆様、明けましておめでとうございます。

新春にあたり本年の豊漁と安全操業を心からご祈念申し上げます。

さて、最近の漁業経営を取り巻く環境は、水産資源の悪化、長引く魚価の低迷、漁業燃油の急激な高騰、頻発する自然災害に伴う漁業被害の発生等誠に厳しいものとなっております。一昨年は、観測史上最多となる10個もの台風の上陸により全国各地で多大な漁業被害を受けましたが、昨年の上陸数は大幅に減少したものの、台風14号等による被害は少なくありませんでした。加えて秋口からは日本全国で大型クラゲが大量に来遊し、甚大な漁業被害をもたらしており、関係漁業者の経営は一段と厳しさを深めています。

このような状況下、浜の漁業者、漁協系統、関係者の皆様がたからの「ぎょさい」に対する期待と関心はますます高まってきておりますが、残念なことに「ぎょさい」に未だ未加入のため、その期待に応えられないケースも多々あります。

私ども「ぎょさい」に携わる者としては、自然災害対策はもとより漁業経営のセーフティネットとして重要な役割を果たしてきた「ぎょさい」をこれまで以上に普及拡大させることに全力で取り組んでまいります。皆様におかれましても「ぎょさい」の積極的な活用をお願い申し上げます。

我々ぎょさい団体は、本年4月より、これまで4年間展開してきました「新ぎょさい総加入運動21」の成果を踏まえ、「ぎょさい」の果たす役割を十分に理解してもらう努力を行い、積極的活用を呼びかけることによって、漁業の主要な担い手となる漁業者全員の「ぎょさい」加入を図るべく新たな普及推進運動を展開する所存であります。

本年も新時代の漁業と漁村づくりのために「ぎょさい」がより一層浜の期待に応えるべく、国、地方公共団体、漁協系統団体等との緊密な連携のもとで漁業者の皆様と相携えて力強く前進したいと存じますので、引き続いての皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。